



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/04/12

研究課題名	切除不能膵頭部癌に伴う遠位胆管狭窄による閉塞性黄疸に対する大口径低 axial force 胆管金属ステント留置の有用性と安全性を検討する単施設前向き試験
研究の対象	北野病院消化器内科に通院又は入院中で、遠位胆管閉塞を来たす膵癌により黄疸あるいは肝機能障害を有し、胆道ドレナージ術を要する 20 歳以上の患者
研究目的・方法	目的：切除不能膵頭部癌による悪性遠位胆管狭窄に対する内視鏡的ドレナージ法として、新規開発した大口径カバードタイプ金属ステントを留置することにより、その開存性および安全性を比較検討することを目的とします。 方法： 閉塞性黄疸を有する膵癌患者に新規開発した胆管金属ステントを留置し、その有用性を検討します。 研究期間：許可日～2025 年 12 月
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、受診経路、腹部症状、全身症状、喫煙歴、飲酒歴、膵がんの家族歴、急性膵炎の既往、糖尿病の有無、糖尿病の発症時期、膵嚢胞性病変；有無、部位、最大径、結節の有無、主膵管拡張；有無、口径変化の有無、慢性膵炎；有無、膵石の有無、膵腫瘤性病変；有無、部位、最大径、ステントの開存期間、ステント留置に伴う併発症など
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪府大阪市北区扇町 2-4-20 消化器内科 TEL 06-6312-1221 FAX 06-6361-0588 研究責任者：北野病院 消化器内科 副部長 栗田 亮